

市長とミライとーく 報告書

令和6年12月5日

日 時	令和6年11月27日（水） 午後6：00～7：30		
会 場	関市役所7階 つなぐガーデン （関市若草通3丁目1番地）		
対 象 者	市内在住の中学生、高校生、大学生	参加者	8人 (中学生)
テ ー マ	理想の中学校について		
担 当 課	教育委員会教育総務課		

【参加者からの、参加者同士の意見及び提案】 要約

1 参加者が目指す理想の中学校について

- ・みんなが笑顔で過ごせる（協力して楽しく過ごせる）
- ・将来のために学びたいことが学べる（生徒が自由に科目などを選択できる）
- ・自分を表現できる（服装などで）
- ・生徒主体で行動できる（意見が反映できる）

2 理想の中学校に向けて変えたいこと

（1） 装いの自由

ア 制服以外で過ごせるようにしたい（特に登校時）

- ・制服は、ズボン又はスカートの選択制になった。（移行期）

けれども、スカートを購入した場合、制服登校のときは、寒い時期でもスカートで登校しなければならないため、（追加でズボンを購入しないといけない）自由な服装で登校したい。

- ・自分らしさを表現する方法として、制服以外も認めてほしい。

イ 靴下の色

- ・靴下の色は、白色が指定されている。（一部学校は、黒色など着用可能）

体育などで汚れたときは洗濯が大変なため、着用可能な色を増やしてほしい。

（2） 給食の過ごし方

コロナ禍のときに、感染拡大防止策としてあった慣習が現在も続いている。

以前は号車ごと（グループごと）に分かれて食べていたが、コロナ禍で正面を向いて、個々に給食を食べることになった。みんなで楽しく給食が食べたい。（交流の場にしたい）

（3） 行事

ア 地域振興へのかかわり

地域の魅力を発信できるような行事を開催したい。

- ・小学校とのかかわりはあるが、大人との交流は少ないかもしれない。
- ・部活動やボランティアなどでかかわる場面はある。
- ・生徒が主体的に活動できる行事を提案しても、資金や安全面から実施することが難しい。生徒運営の行事を開催できるような体制をつくってもらいたい。

イ 体育祭

- ・種目数などを増やして、盛り上げたい。
- ・学校行事が縮小されていることが残念。
- ・半日が適当だという生徒もいる。
- ・気温が高くなるので、時間が長くなると熱中症などが心配な面もある。

ウ 修学旅行

- ・様々な事情で、長期間かつ大人数の旅行が難しくなっているのでは。
- ・遠隔地にみんな一緒に、楽しく行けるような行事であってほしい

(4) 相互理解を深めるような機会の創設

- ・意見（主張）を交わす機会が少ないように思える。
- ・消極的で、意見がでない。
- ・合唱（行事）のときに、互いにどうしたいかを真剣に話し合うとよいのでは。
- ・まずは自分から積極的に行動してみてもどうか。
(話しやすい雰囲気をつくるようにするなど)
- ・既存の雰囲気を変えるなら、協力者を探して思いを伝えてみてはどうか。

(5) タブレット

- ・タブレット（アプリ）は、プレゼンや発表に利用している。
- ・タブレット用のアプリのほか、社会で使用されているようなソフト等を使用して、将来に必要なスキルを身につけたい。
- ・アプリは便利であるけれども、将来に役立つかについては疑問。
- ・タブレットだけでなく、PCの使用方法についても学ぶ場があるとよい。

(6) 体育の授業

- ・分野を広げて、いろいろなスポーツを体験してみたい。
→国が定めた規定上難しいので、学校以外の場を利用してほしい。
- ・習い事などを部活動として評定してもらえる制度がある。

(7) 学校に憩いの場、自習室（カフェなど）の創設

ゆったりとした空間で、生徒同士が交流できるような場所がほしい。

(8) 体育館空調の設置

温度湿度に対応できるように、体育館に空調を設置してほしい。

→来年度以降に順次設置予定

3 変えていくために

学校によっては、生徒会で提案して校則を変えたところもある。

ただし、校則を一気に変更すると、校則を軽んじてしまうおそれがある。守られてきた校則のままでよかったのではないかと思われるかもしれない。→校則を変えるだけでなく、変

えた校則を守っていこうという、みんなへの意識付けも大切。（市長）

【担当者の考え】

現在中学校に通っている生徒の目線でいろいろな考えを聞くことができた。

実際に生徒会が主体となって校則を変える提案をしたという話が出たので、ほかの学校での話を聞くことができるよい交流の場になったのではないかと考える。また、市長から学生であったときの、現在は廃止された校則について話があった。異なる世代の話も時代に合わせて自らで変えていくことへの例として、主体的に活動するための一助としていただきたい。

と一くの中で、教育委員会として学校運営の方針はあるのかを問われた。これについては、学校ごとに特色があるため、教育委員会で方針を設けていない。校則等学校の規則については、生徒からぜひ提案していただきたいところであり、生徒が提案しやすい環境であるように教育委員会として働きかけたい。

【今後の対応】

- ・生徒会などの生徒が意見、活動できる場を大切にするように改めて学校へ依頼
- ・複数の学校がかかわる行事等における生徒同士の交流を促進
- ・施設面でも、生徒が過ごしやすい環境を検討

当日の様子

